

子供の安全対策



岡崎警察署長
井口 弘造 氏

昨年来、奈良県の女子児童誘拐殺人事件、安城市の幼児通り魔殺人事件、大阪府寝屋川市の小学校教職員殺人事件など、子供の安全を脅かす事件が相次いで発生し、住民に大きな不安を与えています。

県内でも、昨年、小中学校への不審者侵入事案が六件発生し、本年も既に三件発生しています。中には不審者が包丁を持って侵入するという事件もあり、一つ間違えば大阪の池田小学校事件のような悲惨な事件に発展しかねない事態も見受けられます。

子供の安全に対する住民の関心は極めて高く、池田小学校事件以来、教育委員会を中心として、学校管理におけるハード、ソフト両面において、かなり整備されました。昨年四月に施行された「愛知県安全なまち

教育随想



平成17年8月1日

8月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想	1
岡崎警察署長 井口 弘造氏	
この人に聞く	2
サンスポーツクラブ総務課長 鈴木 勲三氏	
羅針盤	2
竜南中学校長 石原 雅充	
ふれあい	3
竜美丘小 齊藤 淑子 六ツ美北中 大島 沙樹	
特集	4
「異校種交流は今」 ～継続により広がる心の触れ合い～	
お知らせ	6
フォト・ヒストリー	8
複式三校による合同研究会 (昭和49年)	
この本を	8



づくり条例」において、児童等の安全の確保が盛り込まれ、より一層の推進が求められています。

警察といたしましても、教育委員会、各学校との連携を一層強化し、地域社会全体で子供を見守るような環境作りに心がけてきました。また、子供自身に危険を回避する能力を身につけさせる安全教育や、学校・通学路等の安全確保を重点とする安全対策も講じています。

具体的には、「こども110番の家」の拡充と子供への周知徹底、教職員

等に対する参加体験型の不審者侵入対応訓練の実施、子供に対する防犯教室の開催等を、現在、積極的に推進しているところです。

また、岡崎市においては、最近の犯罪の多発に伴い、地域による安全パトロール隊の結成、登下校時の挨拶運動等が活発化しています。私たちも、これらの活動と連動して子供の安全の確保にも積極的に努めてまいります。

(いぐち こうぞう)



人があつて技がある

サンスポーツクラブ総務課長

鈴木 勘三 氏

長年、水泳指導に取り組んでおられる鈴木勘三さんにお話を伺った。

「突然、水泳部の顧問をやれと言われましてね。水泳を体系的に習った人間ではないので、本を読んだり悩んだりして自分で勉強しました。」
意外な言葉だった。水泳の専門家でないからこそ、ここまでやってこられたと、ご自身を振り返られる。

「初めは、いかにして相手に勝つかということばかり考えていました。随分厳しく指導しましたね。」



好記録が出たとき、服のまま水に飛び込み子供を抱きしめたこともあったと、懐かしそうに話を続けられる。

「顧問就任二年目から各種大会で何回も優勝を重ねたあるとき、はつと気がついたのです。勝つことばかり考えていて、泣きながらやっとの思いでついてくる子を忘れていたと。それ以来、全校皆泳を実現するためにはどうしたらよいか考えました。私は、水に顔がつけられない子供には、顔を水面に出して泳ぐことのできる『ちようちよう背泳ぎ』が最もよいと考えました。」

初めて二十五メートルを泳いだ子供供の、満面の笑顔が目につく。『まず喜びがあつてこそ、苦しみを克服していけるのです。』技があつ

て人があるのではない。人があつて技がある』のです。」

教職を退職後、ハートピア岡崎に勤務されていたとき、心に問題を抱える子供も、水泳で何とかなると考えられた。現在の職に就かれたあとも、不登校の子供に対し、水泳指導を行うようになったと語られる。

「学校に行きなさいとは一切言いません。遊んで泳ぐ、泳いで遊ぶの繰り返しです。次第に、子供から心を開くようになってきます。」

何人もの子供が表情を取り戻した事例を聞かせていただいた。水の中で指導者と子供が、肌を寄せ、心を通わせる様子が目に浮かんでくるようだった。

「水には神秘性があるのです。泳いだ後、何とも言えないすがすがしい気分になるでしょ。お母さんのお腹なかにいるときでも水の中にいる。もつと昔のことを言えば、もともと人間は水から生まれたのです。」

こう話される鈴木さん。プールの中を指導されながら、何度も行き来されるその姿は、今なお、はつらつとしてみえた。

氏名 すすき かんぞう
生年月日 昭和四年一月五日
住 所 岡崎市寿町十一一

羅針盤



大人がモデル

竜南中学校長 石原 雅充

我々教師は、児童・生徒に確かな学力を定着させるとともに、「豊かな人間性や社会性」を身につけさせるために、日々の教育活動に取り組んでいる。

豊かな人間性や社会性を育てるためには、道徳の授業や体験的な学習等を充実させることも大切であるが、それと同時に、学校の教育活動全体を通して、基礎的・基本的な生活習慣を身につけさせることも忘れてはならない。本来、基礎的・基本的な生活習慣の育成は、家庭の躰しづが大前提であるが、集団生活の中で身につけさせるべきことも多い。

私は機会あるごとに生徒や職員に次のことを呼びかけている。それは「明るいあいさつ」「さわやかな笑顔」

A男の気持ちと頑張り

竜美丘小 齊藤 淑子

運動会。四年生は「ソーラン節」に挑戦した。ハードな踊りだが、毎日練習し、どの子も日に日に上達した。そんな中、A男の様子が気になった。運動能力の高いA男だが、踊りには力強さがなく、練習中はいつも手を抜いているように見えた。「A男ならもっと腰を低くして踊れる」「いちばん前の列だから頑張れ」と何度も励ました。やる気の見られない態度に、「もっと真剣に」と時には厳しく指導したこともあった。わたしの気持ちの高ぶりをよそに、A男はなおもそつげなかった。それでも指導し続けると、友達を教えるようにもなった。

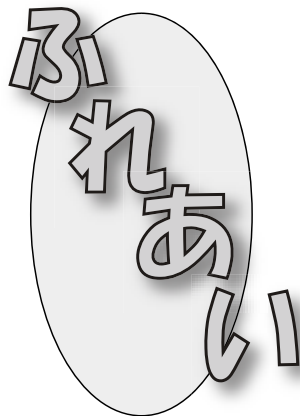
本番。そこには皆と一緒に真剣に踊るA男の姿があった。うれしかった。でも、なぜ練習でこの真剣さが



見られなかったのかと疑問に思っていた。

「ぼくは、運動会があまり好きではありません。だから、あまり楽しみにしていませんでした。でも、先生たちに絶対できると言われ、勇気を持ちました。きんちようしたけど、最後までがんばれました。」

運動会後のA男の作文を読み、はっとした。A男は周りの言葉を受け止め、自分なりに頑張っていたのだ。A男の気持ちに気づいた今、A男の頑張りにもう一度大きな拍手を送りたい。



「MOTTAINAI」運動

六ツ美北中 大島 沙樹

道徳の授業で、ノーベル平和賞受賞者のワンガリ・マタイ氏が提唱する「MOTTAINAI」運動のことを紹介した。

多くの生徒から「日本語の『MOTTAINAI』が世界を良くするための運動になっていることはすこ



い」と、驚きの声が上がった。そこで、全員で取り組むことができ、一人一人が少しずつ頑張れば成果に結びつき、この運動の主旨にそった活動はできないかと話し合った。その結果、学級で「給食の完食」に挑戦することになった。

責任感の強い給食委員A子は、食缶のおかずをすべて配るよう努めた。「あとは先生が配るよ」と言っても、「最後までわたしがやります」と、一歩も引かない。「パン、だれか食べて」とA子が呼びかけると、いつもは小食のB子が「半分なら」、続いてC子までもが「四分の一なら」と、次々に協力した。嫌いなものでも頑張つて食べようと努力する子の姿も、たくさん見られるようになった。「先生、今日も完食だよ」と、給食が終わると満面の笑みを浮かべたA子が駆け寄ってくる。「完食したね。明日も頑張ろうね」とハイタッチで応える日々が続いている。

「感謝の気持ち」「人の話を聞く謙虚な姿勢」の四つである。どれもが人間関係を滑らかにし、お互いの理解を深め、心を癒し、信頼の心を育てるために大切なものである。そして、豊かな人間性や社会性を育てるためには必要不可欠な基礎的・基本的な生活習慣である。このことを呼びかけて三年目になる。全校生徒の聞く姿勢、校内ですれ違う時のあいさつや笑顔から少しずつではあるが成果がみられるようになってきた。地域の方々からのお褒めの言葉も届くようになった。これは生徒たちの努力もさることながら、職員の前向きな取組の賜物でもある。

多くの職員が、「生徒と会ったら教師の方からあいさつをする」「生徒とはできるだけ笑顔で接する」「水かけやノート集め、日直や給食などの当番の生徒に感謝の言葉をかける」「人の話を聞くことの大切さを機会あるごとに諭す」など、率先垂範で取り組んでくれたおかげであるといえる。

子供に豊かな人間性や社会性を育成するには、常に教師や保護者など周りの大人がまずその手本を示すべきである。子供にとって成長のモデルは最も身近にいる親と教師である。

「異校種交流は今」



～継続により広がる心の触れ合い～

▲ 学年交流（本宿小・岡崎養）

総合的な学習の時間が実施されてから、今までの学校間交流はさらに盛んになってきた。思いやりの心の育成、コミュニケーション能力の向上など、現在の子供の実態に即した学習の二環として、非常に大きな成果を上げている活動である。

その中でも、岡崎盲学校、岡崎聾学校、岡崎養護学校などの異校種と、継続的に交流を続けている学校も多い。現在では、昔に比べて社会や地域の理解が深まってきたことから、障害のある子が居住地の学校で授業を受けたり活動を共にしたりする「居住地校交流」も始まってきた。

三島小学校は、岡崎盲学校と七夕集会、芋さし交流（収穫祭）などの活動を続けてきた。また、恵田小学校は、岡崎聾学校と山の学習や落ち葉スキーなどの交流を行い、岩津中学校も授業やスポーツを通して交流を継続してきた。本宿小学校は、岡崎養護学校と学年・学級単位での直接交流や文化祭への出品などの間接交流を行い、東海中学校も、お互いの学校を会場として親睦を深めてきた。

このような異校種交流を通して、ハニデイを特別に意識せず、お互いの個性を学び合う気持ちも育ってきた。今後も交流活動を継続していくことで、心豊かな子供が増えていくことを願っている。



▲ 芋さし交流会（三島小）



▲ 竜盲交流会（竜海中）

岡崎盲学校と



▲ スポーツ交流 (岩津中)



▲ 合同山の学習 (恵田小)



▲ 岩津ピック (岩津小)

居住地校交流



▲ 算数の授業 (梅園小)



▲ レクリエーション活動 (東海中)

岡崎養護学校と

岡崎聾学校と

【交流活動を5年以上継続している学校】

学校名	交流活動内容
三島小学校	4年生…七夕飾り作り、芋の栽培・収穫交流 6年生…居住地校交流として児童1名が6年1組と交流 グループで盲学校へ訪問
竜海中学校	「竜盲交流」と題し継続的に交流 盲人体験・弱視体験 授業参加・クリスマス会参加
岩津小学校	4月に両校の教員が集まり、学年ごとに活動計画を立案 案に基づいて交流活動を実施
恵田小学校	山の学習・落ち葉スキー交流・授業交流
梅園小学校	聾学校の生徒が年に数日来校し、該当学年の児童と交流
六名小学校	学区の児童が年間10日程度ともに交流活動を実施
井田小学校	授業や行事を通しての交流
六ツ美北小学校	該当学年に入り授業参加
岩津中学校	学習交流…体育や技術などの授業に参加 作品交流…写生作品等を文化祭などで交換展示 スポーツ交流…バレーボール大会等に参加
本宿小学校	低学年…学年交流(年1回) 高学年…学年・学級交流(年2回)
東海中学校	レクリエーション活動 1学期…養護学校を会場として触れ合い活動 2学期…東海中にてクイズ・ゲームでの交流 3学期…養護学校にてペア交流、昼食会

居住地校交流



▲ 音楽の授業 (城南小) 平成16年度より



● 教育最新情報

○幼稚園・保育園・小学校の連携

今年一月、中央教育審議会から「子供を取り巻く環境の変化を踏まえた今後の幼児教育のあり方について」(答申)が発表され、「幼稚園・保育園・小学校の交流」をさらに推進する方向性が示された。

各学校・各園は、幼児期から児童期への特性をとらえ、合同の学習会や授業や保育を参観し、教師・保育士が共通の発達観や教育観をもつことが大切になってきた。

(1)これまでの連携の取組

本市としては、平成十三年度から市内の小学校が中心となり、「幼・保・小連携の試み」をテーマに連携の礎が築かれた。活動内容は、小学校が、かかわりのある幼稚園・

保育園に連絡して、授業や保育を参観し、教育内容や子供の発達段階を理解したり、相談したりする交流会である。昨年度からは、幼稚園・保育園が主体となって、連携を深める活動が始まった。活動内容は、全市的に幼・保・小の教師や保育士が、一同に会して、研究会を実施した。

(2)本年度の取組

岡崎市教育委員会と岡崎市福祉保健部が中心となり、岡崎市幼・保・小連絡協議会(準備会)を立ち上げ、組織的・計画的に取り組んでいる。この協議会は、公私立の幼稚園と保育園、小学校の各代表の校長・園長・教諭(保育士)で構成している。それぞれの教育の独自性と連続性を理解し合いながら、交流や連携の推進役となり、子供の生

きる力を伸ばし、健やかな育ちを支えていくことを目的としている。

現在、協議会が中心となつて、「研究会」「交流会」を次のように計画している。

(3)研究会

①第一回研究会

・八月五日(金)九時

・会場 竹の子幼稚園

「遊びを中心とした幼児生活の中で」

②第二回研究会

・八月三十日(火)九時四十五分

・会場 愛隣幼稚園

「遊びの中で育っていく人間関係」

(4)交流会(幼稚園保育園から案内)

・時期 七月から十月

・内容 保育参観・協議会等



▲ 幼小交流 (梅園幼稚園)

● 少年自然の家だより

○「すぶちネーチャークラブ」

本年度もスタート
学校週五日制に対応してスタートした本所主催事業の「すぶちネーチャークラブ」は四年目を迎えた。本年度は、市内の小学校の男子十四名、女子九名の総勢二十三名が会員となった。

四季折々の自然を通して、所内の活動をよく知ってもらうことを目的としている。様々な野外体験活動を楽しみながら、本年度は会員相互の親睦を図ることもねらいとして、年八回の活動を予定している。五月五日(祝)に第一回目を開催し、五月晴れのもとで、所内を散策した後、落ち葉スキー、フィールドアスレチックをしたり、木製の名札を作ったりして楽しんだ。

第二回目の六月十一日(土)

には、五平餅を作った。生まれて初めて野外炊飯をした子供もいるなか、上級生のお兄さんお姉さんのアドバイスを

聞きながら、何とかご飯を炊き上げ、五平餅をおいしく味わった。参加した子供たちは初夏のひとときを仲間とともに満喫した。

聞きながら、何とかご飯を炊き上げ、五平餅をおいしく味わった。参加した子供たちは初夏のひとときを仲間とともに満喫した。



▲ 五平餅をほおぼる子供たち

○ホタルに親しむ夕べ

六月十一日(土)に、「ホタルに親しむ夕べ」を開催した。会には、抽選で選ばれた二十六家族九十七名の参加者が集まった。ホタル研究会の古田忠久先生の講話を聞き、その後、実際に所内でゲンジボタルを観察した。

数十匹のゲンジボタルが幻想的な光を放ちながら、優雅に飛び交う姿を目の当たりにした参加者からは、感嘆の声がもれていた。

●表 彰

◆松下教育財団主催 子どもニュース (KWN) プロジェクト 奨励状
藤川小学校

美川中 川本 祐二

◆FBC学校花壇設計図コンクール 中日新聞社賞 六ツ美中部小学校

◆第二十五回ベプシカップ全日本 バレーボール小学生大会西三予選

男子の部 優勝 矢作南小学校
女子の部 優勝 上地小学校

◆第十九回わんぱく相撲県選手権大会 優勝 矢作西小六年 村松隆範

準優勝 井田小五年 中村桐瑠

◆環境シンポジウム二〇〇五 岡崎市より感謝状 河合中学校

◆ジュニアオリンピック愛知県大会 自由形二位・背泳ぎ三位

矢作西小六年 大橋 諒輔

◆第五十一回全日本中学校通信陸上競技選手権大会西三予選会

走り幅跳び 優勝 岩津中三年 鈴木雄貴

一五〇〇M 優勝 矢作中三年 花岡紗耶

◆愛知県「自然・人・未来へ発信する学校作り事業」委嘱校

細川小学校・大門小学校
河合中学校・竜南中学校

◆市「特色ある学校づくり推進事業」委託校(園)

広幡幼稚園・岡崎小学校
三島小学校・北野小学校
南中学校

●市中学生姉妹都市交流事業

第二十四回目となる姉妹都市ニューポートビーチ市との交流において、七月六日から十三日まで、付き添い一名と中学生四名を受け入れ、市長表敬訪問、ホームステイ、学校訪問などを通して友好を深めた。受け入れたメンバーは次のとおりである。

- 生徒 ケリー・クラーク
レイラニ・タンバラ
ダニエル・ケネイチ・ワード
エドワード・ウィックランド
ティムリー・ゴールド
- 付添



▲市長表敬訪問

◆第49回岡崎市中学校総合体育大会の記録(水泳の部)

種目	氏名	学校名	記録	備考	種目	氏名	学校名	記録	備考	
男子	50m自由形	永田 泰寛	附属	26"1	女子	50m自由形	小島 樹里	附属	29"9	
	100m自由形	田端倫太郎	矢作北	58"5		100m自由形	加藤さゆり	城北	1'02"3	
	200m自由形	本多 広昌	東海	2'06"2		200m自由形	久永 智美	甲山	2'15"6	
	50m背泳ぎ	鶴田 怜也	竜海	33"2		50m背泳ぎ	高田 理江	竜海	33"2	新
	100m背泳ぎ	柳 亮平	竜海	1'08"1		100m背泳ぎ	新井 紀子	矢作	1'15"6	
	50m平泳ぎ	菊池 崇	矢作北	34"3		50m平泳ぎ	沢田 有希	矢作北	38"3	タイ
	100m平泳ぎ	堀川 貴史	矢作北	1'15"2		100m平泳ぎ	瀧野亜由美	北	1'22"5	
	50mバタフライ	加藤 隆一	葵	31"0		50mバタフライ	森 菜見子	矢作	32"8	
	100mバタフライ	森田 和洋	竜海	1'06"7		100mバタフライ	山本紗佑里	矢作北	1'15"8	
	200m個人メドレー	中沢 駿秀	矢作北	2'17"3		200m個人メドレー	藤原 綾子	矢作	2'38"9	
	400mメドレーリレー	石井・堀川 中沢・田端	矢作北	4'28"4		400mメドレーリレー	藤原・森 新井・杉浦	矢作	5'02"0	
	400mリレー	大久保・堀川 田端・中沢	矢作北	3'59"8		400mリレー	新井・杉浦 森・藤原	矢作	4'26"8	
男子総合	1位：矢作北 2位：竜海 3位：東海			女子総合	1位：竜海 2位：矢作 3位：矢作北					

*表中の「新」は新記録、「タイ」はタイ記録の意味を表す。

*表中の数字(3'56"3)は、3分56秒3を表す。

◆平成17年度教科・領域基礎研修会一覧

教科・領域	期日	会場	人数	教科・領域	期日	会場	人数
国語(書写)	8/4	岡崎消防本部 3階講堂	40	技術・家庭科(中学校)	8/4	六ツ美市民センター	40
社会	8/4	岡崎市美術博物館	40	特別活動(野外活動)	7/28~30	岡崎市少年自然の家	40
算数・数学	8/9	岡崎市民会館 甲山会館	50	英語	8/4	南部市民センター(シビックセンター内)	60
理科	8/4	六名小学校	50	特別支援教育	8/4	教育研究所 301~305	60
生活	8/1	教育研究所 205	50	学習情報(パソコン)	8/2	竜海中学校	40
総合的な学習	8/4	美合学区市民ホーム	70	学校図書館	8/3	教育研究所 205	80
音楽	8/2	太陽の城	60	学校保健	8/4	中央総合公園野球場 第1会議室	60
図工・美術	8/1	おかざき世界子ども美術博物館	30				
保健体育	8/4	梅園小学校体育館	40				
家庭科(小学校)	8/1	大門小学校 家庭科室	30				

・カ
ツ
ト
矢作北中 都築秀次

複式三校による 合同研究会 (昭和49年)

写真提供：常磐東小学校

昭和四十九年、岡崎市複式三校（常磐東・常磐南・恵田）による合同研究会が開催された。常磐東小学校では「学ぶ心・力を育てる授業」をテーマに、小規模校における効果的な国語指導法の研究成果を発表した。子供の考えや着想を生かし、個別学習と学習の持続・発展化を図る研究である。

平成十一年には、恵田小を最後に複式はなくなったが、学力をつけるためこうした研究は、各校において、今またクローズアップされている。



この本を

- *頭がいい人、悪い人の話し方 樋口 裕一 P H P新書 ¥714
- *武士道とともに生きる 奥田 碩・山下 泰裕 角川書店 ¥1400
- *母ごころ仏ごころ 梅原 猛 小学館 ¥1000
- *発達障害かもしれない 磯部 潮 光文社新書 ¥700
- *世界最速のF1タイヤ 浜島 裕英 新潮社 ¥680

*さらば勘九郎 小松 成美 幻冬社 ¥1600

勘九郎といえば、テレビ等で馴染みが多い。また仮設テントでの公演「平成中村座」を設立し、ニューヨークでの公演が大成功したことは耳に新しい。その勘九郎が平成17年3月より、亡き父の後を受け十八代目勘三郎を襲名した。

本書は、平成13年からのインタビューをもとに、勘九郎として最後となる公演と、家族・子育て・友人関係のことが述べられている。意欲的に活動する勘三郎の姿に、元氣をもらえる1冊である。

奥州藤原氏と義経に思いを馳せた芭蕉。大河ドラマのおかげで、一学期の「おくのほそ道」の授業は、歴史マニアやアイドル好きの目が輝いた。今、蟬の声がしみ入る教室で学習相談の三年生が、夏草が勢い増す校庭で後を引き継いだ下級生部員が、それぞれの功名を夢見る。

死海の水からヒントを得て、夏休みの自由研究のテーマを「物の浮き沈み」にした子供。たくさんの塩を溶かし、あれやこれやと水に入れる物を用意する姿が微笑ましい。

それぞれの子供の追究がどんどん広がることを期待している。

シオ スア

朝顔の花に見送られるように、ラジオ体操へ出かける子供たち。全国各地で見られる夏の風物詩だ。

最初のラジオ体操は昭和三年に、現在の第一体操は昭和二十六年に制定された。昭和の時代と変わったことは多いが、夏の朝の光景は今も変わらない。

スポーツや行事を通して継続的に取り組まれてきた学校間交流。中でも異校種交流を二十年以上続けてきた学校もある。さらに「居住地校交流」も盛んになってきた。今後も交流活動を通して、お互いを思いやる気持ち、人と接することの大切さを育成していきたいものである。